

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヴェリテ富田林駅前2 新築工	階数	地上9F
建設地	富田林市若松町西一丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域 準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2018年10月1日
敷地面積	732 m ²	作成者	株式会社アモルファス建築設計事務所 平野
建築面積	424 m ²	確認日	2018年10月1日
延床面積	2,805 m ²	確認者	株式会社アモルファス建築設計事務所 平野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.2</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (0 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 92% (46 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>③上記+②以外の 92% (92 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>④上記+ 92% (138 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 3.0		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.5</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.3</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 2.1</p>
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.2		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 3.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
F☆☆☆☆を使用しVOCについても放散量が少ない建材を全面採用している	特に無し	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部遮音性能は専有部T2とし室内環境に配慮している	耐用年数の長い配管材を使用	敷地内にできる限りの緑地を設置
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の採用	躯体材料以外におけるリサイクル材に使用について資材を2品目用いている 躯体と仕上げ材が容易に分別可能な設計になっている	屋外照明および屋内照明のうち外に漏れる光について配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0092

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)ヴェリテ富田林駅前2 新築工事						
		建設地	富田林市若松町西一丁目1870番1						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+		
①	CO2削減						3		
②	みどり・ヒート アイランド対策						3		
③	建物の断熱性						4		
④	エネルギー削減						3		
⑤	自然エネルギー直接利用						○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.3	3		
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0			
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4		
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.4	3		
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									